
バカとテストと召喚者

?紫苑?

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

バカとテストと召喚者

【Nコード】

N4498Y

【作者名】

?紫苑?

【あらすじ】

・・・うん。・・・バカテスの二次創作小説ですね
・・・見ての通り・・・

バカテスト 第1問（前書き）

みじかいです

バカテスト 第1問

バカテスト 第1問 化学

問 以下の問いに答えなさい

『調理の為に火にかける鍋を製作するさい。

重量が軽いのでマグネシウムを材料に選んだのだが、調理を始めると問題が発生した。この時の問題点とマグネシウムの代わりに用いるべき金属合金の例を一つ挙げなさい』

風早翔、姫路瑞希の答え

「問題点・・・マグネシウムは炎にかけると激しく酸素と反応するため危険であるという点
合金の例・・・ジュラルミン」

教師のコメント

正解です。合金なので鉄では駄目という引っかけ問題なのですが、風早ちゃんと姫路さんは引っかけありませんでしたね。

土屋康太の答え

「問題点・・・ガス代を払っていなかったこと」

教師のコメント

そこは問題じゃありません。

吉井明久の答え

「合金の例・・・未来合金（すごく強い）」

教師のコメント
すごく強いと言われても。

氷炎怜音の答え

「問題点・・・何でそんなめんどくさいことするの？買えばいいじゃない。」

合金の例・・・過去合金）　すごく弱い）
のってみた

教師のコメント

すごく弱いといわれても・・・
しかも、そういう問題なので
後・・・のらなくてよろしい！

瀬戸口雪の答え

「ひぐつ・・・わっわかりません・・・
うつつわ〜ん　翔く〜ん」

教師のコメント

何も泣かなくても・・・
風早く〜ん　ヘルプミ〜

バカテスト 第1問（後書き）

短いすねw

次はなるべく早めに更新したいと思います

クラス発表！（前書き）

キリのいいところで終わらせるので短いかもしれません

クラス発表！

「氷炎、風早、瀬戸口、おはよう」

玄関の前でドスの聞いた声に呼び止められる。

声のしたほうを見ると、そこには浅黒い肌をした短髪のいかにもスポーツマン然とした男がまっていた

「につしー（西村先生）（おはよう）（おはようございます）（」

「氷炎、今につしーと言わなかったか？」

「？言いましたよ？」

「先生に変なあだ名をつけるな！」

「まあいいじゃないですか」

「はあ まあいい ほら、受け取れ」

先生が箱から封筒を取り出し、差し出してくる。

「あ、どーも」

この紙にはクラスが書いてある

俺はどのクラスかな？

えーと

『氷炎 怜音・・・Bクラス 代表』

は？ 俺が代表？ マジか・・・

「氷炎、お前手を抜いただろ」

「につしー・・・」

「はて？ なんのことかな？」

「ねえ 翔はクラスどこ？」

「俺は、Bクラスだな」

「マジ？ やった 一緒だよ！」

「そうか。よかった 雪はこのクラスなんだ？」

「わっ私は、Fクラスだった・・・」

「は？ なんで？ お前頭いいじゃん」

「そっそれは・・・緊張しすぎて・・・集中できなくて・・・」

「・・・そうか。じゃあ離れ離れだな」

「・・・うん・・・ひぐっ・・・えぐっ」

「泣くなっで、な？ 雪？」

「うっうん」

「俺たち以外の人たちと仲良くなるチャンスだぞ？」

「うっうん！」

こうして俺たちの騒がしい日々は始まった・・・

クラス発表！（後書き）

どうでしたか？

バカテスト 第2問（前書き）

早くも投稿・・・

バカテスト 第2問

バカテスト

国語

第2問

問 以下の意味をもつことわざを答えなさい

- 「(1) 得意なことでも失敗してしまうこと」
- 「(2) 悪いことがあつた上に更に悪いことが起きる喩え」

風早翔、姫路瑞希の答え

- 「(1) 弘法も筆の誤り」
- 「(2) 泣きつ面に蜂」

教師のコメント

正解です。

他にも(1)なら「河童の川流れ」や「猿も木から落ちる」
(2)なら「踏んだり蹴ったり」や「弱り目に祟り目」などがありますね

土屋康太の答え

- 「(1) 弘法の川流れ」

教師のコメント
シュールな光景ですね。

吉井明久の答え
「(2)泣きつ面蹴ったり」

教師のコメント
君は鬼ですか。

氷炎玲音の答え
「(1)河童も筆から落ちる」
「(2)蜂の弱り目蹴ったり」

教師のコメント
まとめても駄目です。
しかも、(2)の答え危険です。

瀬戸口雪の答え

「(1) 弱り目に祟り目」

「(2) 猿も木から落ちる」

教師のコメント

逆でしたね・・・

落ち着いて答えてくださいね

バカテスト 第2問（後書き）

頑張った・・・

でけえゝ（前書き）

更新！

でけえゝ

「・・・でけえゝ 何だろうこのデカイ教室は」

ここは多分Aクラスだろう

おっ知的で美人な先生がいる！
後で話しかけてみようかなあゝ

「じゃあな 雪 がんばれよ？」

「うっうん」

「何かあつたら俺に言えよ？」

「うっうん！」

「じゃあ気を付けてな？」

「うん」

雪と別れて、2年B組と書かれたプレートのある
教室の前に着いた

「この教室も結構デカイな」

「ああ」

「入るか。」

「おう。」

扉を開けると・・・・・・・・・・？

そこはBクラスの教室だった。

そんままじゃん！

「立派だな」

「ああ」

てか、翔今さつきから一言しかしゃべってねんだけど・・・

俺は教室に入り、教室を見回した

ざわざわ

ガラッ

「おはようございます。

私はこのクラスの担任の山下千尋です。
これから1年間よろしくお願いします。」

「「はい」「」」

結構美人な先生だな・・・

「それでは、みなさん自己紹介をしてください」

「相川由美です。

テニス部です」

「岩下律子です。」

2人とも可愛いな・・・

「風早翔です。」

そこにいる代表とは親友です」

翔か。

「菊入真由美です」

ふむふむ。

「和田優です」

「・・・和田陽です」

「僕たちは双子です」

双子か　2人とも可愛いな

優ちゃんは元気っ子で陽ちゃんはクールって感じかな？

ここらへんは同じような紹介だから飛ばすよ

「ツチ！　根本恭二だ」

何か卑怯そうな顔してるなあ

・・・

「最後に代表の氷炎くん、自己紹介してください」

「はーい。 Bクラス代表の氷炎玲音だよ？
俺のことは代表でも氷炎でも好きなように呼んでね？」

「「はーい」「

「ちなみにそこにいる翔は【影】って
呼ばれてるよ？」

「おい！ レオ！」

「えっあいつが！？ いつの間にか近くにいて
相手が気づかないうちに倒すっていう
あの影！？」

「ばらすなよ、【陽】」

「えっ代表は影のパートナーの
陽！？」

あのすごい動きで相手を仕留めるっていう！？」

「おい お前もばらしてんじゃねえかよ」

「レオがばらすからだろ？」

「まあいい」

でけえゝ（後書き）

結構長くかけたかな？

バカテスト 第3問（前書き）

^
^

バカテスト 第3問

バカテスト

英語

第3問

問 以下の英文を訳しなさい。

「This is the bookshelf that my
grandmother
had used regularly」

風早翔、姫路瑞希の答え

「これは私の祖母が愛用していた本棚です」

教師のコメント

正解です。きちんと勉強してますね。

土屋康太の答え

「これは

」

教師のコメント

訳せたのはThisだけですか

吉井明久の答え

「
*
x
」

教師のコメント

出来れば地球上の言語で

氷炎玲音の答え

「これは私の本棚が愛用していた祖母です」

教師のコメント

すごいことになってますよ。答えをよく見直してください

瀬戸口雪の答え

「

」

教師のコメント

まさかの白紙ですか。

・・・ところどころに涙の跡がありますけど・・・

バカテスト 第3問（後書き）

どうでしたか？

DクラスVS Fクラス

・・・・・・次の日・・・・・・

何とあのFクラスがDクラスに宣戦布告した！

なので先生たちはみんなそっちに行ってるので
他のクラスはみんな自習になった

今、俺たちはモニターで
試験召喚戦争の様子を見ている

そんな時

ピンポンパンポン

《連絡いたします》

なんだろ？

《船越先生、船越先生》

《吉井明久くんが体育館裏で待ってます》

・・・・？

《生徒と教師の垣根を越えた
男と女の大事な話があるそうです》

「ぷっ あっはっは あの船越女史に・・・」

吉井って奴誰だか知らねーが男だな！

「そういえば 雪もFクラスだったな
大丈夫かな？」

「大丈夫だろ」

・・・戦争の結果は・・・

あの姫路さんがFクラスにいて
一撃でDクラス代表を倒した。

雪は出てなかったけど温存してるのかな？

DクラスVSFクラス（後書き）

次はバカテストです

バカテスト 第4問

バカテスト

物理

第4問

問 以下の文章の（ ）に正しい言葉を入れなさい

「光は波であつて（ ）である」

瀬戸口雪、風早翔、姫路瑞希の答え

「粒子」

教師のコメント

まさか瀬戸口さんまで

正解するとは思いませんでした・・・

土屋康太の答え

「寄せては返すの」

教師のコメント

君の解答はいつも先生の
度肝を抜きます。

吉井明久の答え

「勇者の武器」

教師のコメント

先生もRPGは好きです。

氷炎玲音の答え

「剣」

教師のコメント

意外と普通の答えでびっくりしました。

あと、なんか光の剣ってありそうですね。

バカテスト 第4問（後書き）

おもしろかったですか？

FクラスVS Bクラス

・・・翌朝・・・

今日はゆっくり授業ができると思っていたら・・・

ガラッ

「僕たちFクラスはBクラスに宣戦布告をします！」

Fクラスからの使者がやってきた

「なんだ てめえ おいみんな！ やっちまえ！」

「根本！ 黙っとけ！」

「君は ははっ！ 試召戦争楽しみにしてるよ」
「うっうん！」

Fクラスから宣戦布告されたよ！

初めての試召戦争楽しみだよ

BクラスVS Fクラスの試召戦争が始まった
俺は代表だからあまり動けないけどね・・・

ざわざわ

何だ？ 騒がしいな

【島田が人質に取られた】

は？ 人質？

「・・・翔 行つて来い！」

「ああ （キレてるなこれは）」

「お前ら何してやがる

そんな卑怯なことまでして

勝ちたいのか！ てめえらは！」

「いやっ だって根本が代表が
人質とれって言ったって・・・」

「くそっ 根本のヤロウ」

何考えてやがる 根本のヤロウ

ほかにも、根本は勝手に協定をたて、
今は休戦中だ

くそっ 根本のヤロウ 勝手に
何してやがんだ

・・・Cクラスが怪しいな

Cクラスの代表は根本の彼女だって
聞いたことあるし、

行くか Cクラス

ガチャ

「ね・も・とくゝん いるゝ?」

「ツチ 氷炎!」

「てめえさ 何勝手にやつちゃってくれてんのおゝ」

「っ! てめーにはかんけーねーだろ!」

「ありあんだけど? 俺、Bクラスの代表だぜ?

だけど、お前が勝手に協定たてたり? 人質とつたり?」

「恭二 今の本当?」

「・・・」

「へえゝ 本当なの・・・」

「とっ友香違うんだ!」

「何が?」

「えっえっと」

「根本君・・・別れましょう?」

「なっ何で?」

「卑怯だとは分かっていたけどそこまで卑怯だとは
おもわなかったわ」

「・・・」

いいこと言っじゃん 小山さん・・・

「小山さん？ 何でこいつなんかと付き合ってたの？」

「頭がいいほうが色々いいから・・・」

「こいつより頭がいい人はたくさんいるよ？」

「そっそうね (ノノノよっよくみれば この人かっこいいわね)」

「おっおい友香？」

「ギロツ うるさい、呼び捨てにしないで！」

「おっおい？」

「ざまあみる 卑怯なことばっかしてるから
彼女に振られるんだよ」

「そっそんな バカな・・・」

・・・w

ガラッ

「Fクラス代表の坂本だ このクラスの代表は？」

「私だけど？」

「あっ！ てめっ！ 根本！ 何でここに居やがる！」

俺はとつくにCクラスの人たちに
紛れ込んでるぜ！

FクラスVS Bクラス（後書き）

どうでした？

気づいた人は気づいたかもしれませんが
雪は翔のヒロインに変更しました
そっちのほうがいやいやしいと思ったので・・・

根本 さようなら

・・・翌朝・・・

戦争は開始された。

あつ 根本が手紙らしきものを手に持っている
その目線の先には
姫路の姿が・・・
根本を見ておびえているようだ

・・・根本くん 後ろ隙だらけだよ？

俺は根本が持っている手紙を後ろから
取った

「あつ！？ てめっ 氷炎！ 昨日はよくも

「これは何かな 根本くゝん！」

「そっそれは

俺は根本の首根っこをつかみ
姫路のもとへ歩き出した

「おい！ てめっ！ はなせ！」
「やだね！」

俺は根本よりかなり身長が高いので
根本は宙に浮いている

そして姫路の前で立ち止まる

「姫路さん これ君の？」

「はっはい！」

やっぱりね 根本、君は絶対に許さねーぞ

「はい これ返すよ。 ごめんね こいつがとっちゃって」
「いっいえ ありがとうございます！」

「姫路さんどうしたの？」
「君はBクラスの」

「君は宣戦布告してきた子だね」

「あっ！ うん！」

僕はFクラスの吉井明久
君たちは？」

「俺はBクラスの風早翔」

「俺はBクラス代表の氷炎玲音」

「えっ代表！？ 根本君じゃ？」

「こいつが？をついていたんだよ」

「おい！ 何している！ 明久！」

「あっ 雄二！ Bクラスの代表って
根本くんじゃないんだって」

「何だと！」

「ごめんね。俺が代表なんだ

根本がいろいろとものを壊したりして
ごめんなさい。」

「お前がやったんじゃないんだろ？」
「うん」

俺が気づかなかったのが悪いんだ
代表なのに・・・

「鉄人！」

「鉄人って呼ぶな！ でなんだ？」

「こいつ・・・根本が
代表を偽ったり、カンニングしたり、
ものを壊したり、人を脅したりと
色々なことをしてるけど？」

「何！？ それは本当か？」

「ああ」

「ちよつと来い！」

につしーに根本が連行されていった
まあこれでよかったのかな？

「坂本、俺たちBクラスは棄権する」

「何？ 何でだ？」

「まあ お詫びかな？」

「そうか。 なら、設備交換はしないで、代わりに
根本の末路でいい」

「そうか。 につしーがつれていったから
もう終わりだけだなw」

「それはいえてるなw」

そういえば、氷炎と風早は瀬戸口と幼馴染何だっけ？」

いがいとこの場にいました。風早君w 空気です

「よくしってるな」

「まあな 瀬戸口が泣くたびに
シヨウくん、レオくんというからな」

「そうか。 雪は友達出来てるか？」（ シヨウ

「ああ Fクラスには女子が3人しかいないから
すぐ、仲良くなったみたいだぞ？」

「そうか。 よかった。 なあ 坂本？」（ レオ

「雄二でいいぞ？」

「じゃあ俺もレオでいい。」

次の狙いはAクラスだろ？」

「っ！？ 何でそれを・・・」

「ははっ 勘だ」

「そうか。 じゃあな？」

「ああ」

結局、根本はにっしーによって

尊敬する人物は二宮金次郎

趣味は勉強というように洗脳された上に

退学処分をうけた

あの時は笑ったなあ

根本が髪型を七三分けにして

ピン底メガネをかけていた姿を
見たときはみんな爆笑だったなw

根本 さようなら（後書き）

根本、さようなら

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4498y/>

バカとテストと召喚者

2011年11月20日07時18分発行